

□ 平成26年度 ふじのくにの“みちづくり”

■ 基本理念

東海道新時代を拓くふじのくにの“みちづくり”

■ 3つの基本目標

命と暮らしを守る

県民一人ひとりの命と暮らしを守るふじのくにの“みちづくり”

- ①災害に強く信頼性の高いみちづくり
- ②安全な生活を実現するみちづくり

地域の自立の実現

快適にヒトやモノが行き交い、地域の自立を進めるふじのくにの“みちづくり”

- ③多様な交流や経済活動を支えるみちづくり
- ④地域の生活と自立を支援するみちづくり

豊かさの実現

暮らしの質を向上させるふじのくにの“みちづくり”

- ⑤美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり

地域の自立と実現

～快適にヒトやモノが行き交い、地域の自立を進めるふじのくにの“みちづくり”～

③多様な交流や経済活動を支えるみちづくり

平成26年度事業費 C=12,143百万円

●高規格幹線道路のアクセス道路等の整備

道路ネットワーク拡充のため、地域高規格道路やアクセス道路等を整備します。

国道473号 菊川IC

平成24年8月5日開通

国道473号相良バイパス <大沢高架橋>

平成25年12月23日開通

国道473号金谷相良道路Ⅱ (島田市菊川～菊川市倉沢)

県道大岡元長窪線 (駿東郡長泉町～沼津市)

TOPICS

地域高規格道路“金谷御前崎連絡道路”の整備効果

事業中 国道1号(島田金谷バイパス) (L=10.4km 4車線化)

新東名高速道路と国道1号、富士山静岡空港、東名高速道路、御前崎港が連結

例えば… 新東名高速道路～御前崎港 (島田金谷IC)

【整備前】73分

【整備後】42分

約30分短縮

命と暮らしを守る ～県民一人ひとりの命と暮らしを守るふじのくにの“みちづくり”～

①災害に強く信頼性の高いみちづくり

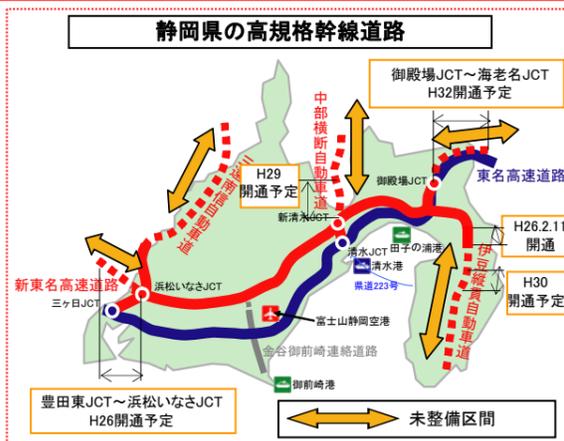
平成26年度事業費 C=9,158百万円

●高規格幹線道路の整備促進(未整備区間の解消)

災害時に円滑かつ迅速な応急活動を支援し、救急医療環境の改善に大きく寄与する、まさに「命の道」となる高規格幹線道路の整備を促進します。

伊豆縦貫自動車道 <天城北道路>

中部横断自動車道 (静岡市清水区葛沢)



●地震に備えた橋梁の耐震対策

地震の発生に備え、緊急輸送路にある橋梁の耐震対策を実施します。

落橋防止システムの設置

橋脚の補強

国道135号<白田橋>

県道富士由比線<富士川橋>

●道路法面等の防災対策

異常気象時の事前通行規制区間内における道路法面等の防災対策を実施します。

整備前

整備後

国道135号(伊東市御石ヶ沢)

④地域の生活と自立を支援するみちづくり

平成26年度事業費 C=4,818百万円

●主要な渋滞箇所における渋滞対策

交通の円滑化を目指して、バイパスの整備や長大橋の整備などの渋滞対策を実施します。

はばたき橋の整備効果

橋名	開通前 (平成22年秋)	開通後 (平成26年2月4日)
富士見橋	30,927	25,599
太平橋	17,345	12,453

約2割減少

約3割減少

平成25年8月3日開通

国道島田吉田線<はばたき橋>

●すれ違い困難箇所の解消

中山間地と市街地を結ぶ道路において、すれ違いが困難な箇所の拡幅やバイパスの整備を実施します。

整備前

道路が狭く、すれ違いが困難な道路状況…

整備中

国道362号 本川根～静岡バイパス (川根本町小長井～富士城)

豊かさの実現

～暮らしの質を向上させるふじのくにの“みちづくり”～

②安全な生活を実現するみちづくり

平成26年度事業費 C=13,074百万円

●通学路等の歩道整備

歩行者の安全な通行を確保するため、歩道の整備などを実施します。

整備前

歩道がなく、歩行者が危険な状態…

整備後

県道川根寸又峽線 (榛原郡川根本町下泉)

●道路施設の長寿命化

適切な維持更新により橋梁等の道路施設の長寿命化を推進します。

整備前

斜材の腐食

整備後

国道150号<掛塚橋>

⑤美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり

平成26年度事業費 C=2,449百万円

●周辺と調和した道路施設の色彩選定、道路案内標識等の整備

・周辺環境に調和した構造や色彩を採用します。
・わかりやすい道路案内標識等の整備を推進します。

【周辺景観に調和した橋梁塗装】

国道135号<熱川大橋>

【著名地点誘導標識(集合型)】

国道135号(下田市白浜)

●世界遺産富士山のマイカー規制

富士山登山道区間の渋滞解消、地球環境への負担軽減を目指して、マイカー規制を実施します。

実施前

五合目駐車場で道路上に縦列駐車が発生

実施中

水ヶ塚駐車場でバス・タクシーに乗り換え

※平成26年度は、道路予算として①～⑤のほか、照明灯電気料等の経費や調査費等がある。(C=403百万円)

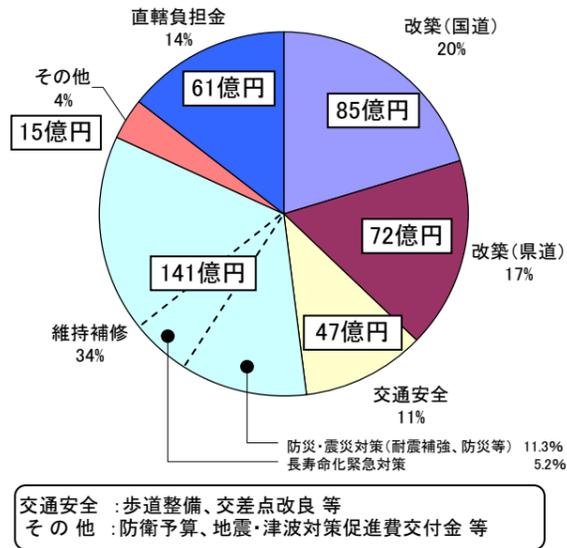
□ 道路関係の予算状況について

静岡県の道路関係予算は、平成10年度以降一貫して減少傾向にあり、より効率的な道路整備が必要となっています。

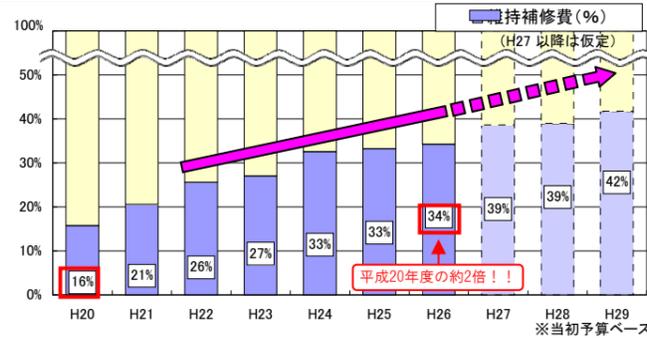
(単位:百万円)

区分/事業名	平成25年度当初	平成26年度当初	(対前年度比)	備考
補助	829	2,241	(2.70)	防衛予算含む
交付金(社会資本・防災安全)	19,578	20,417	(1.04)	
県単独費	14,721	13,311	(0.90)	
うち維持補修費	5,475	5,737	(1.05)	
直轄負担金	6,077	6,077	(1.00)	
計	41,204	42,045	(1.02)	

■ 平成26年度予算の内訳

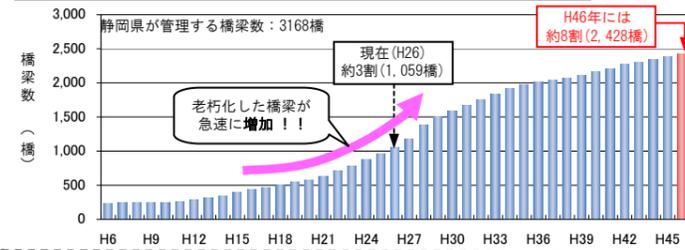


■ 道路予算に占める維持補修費の割合の推移



これまでのように道路予算の減少が続いた場合、平成27年度以降の維持補修費の割合はさらに増加します。

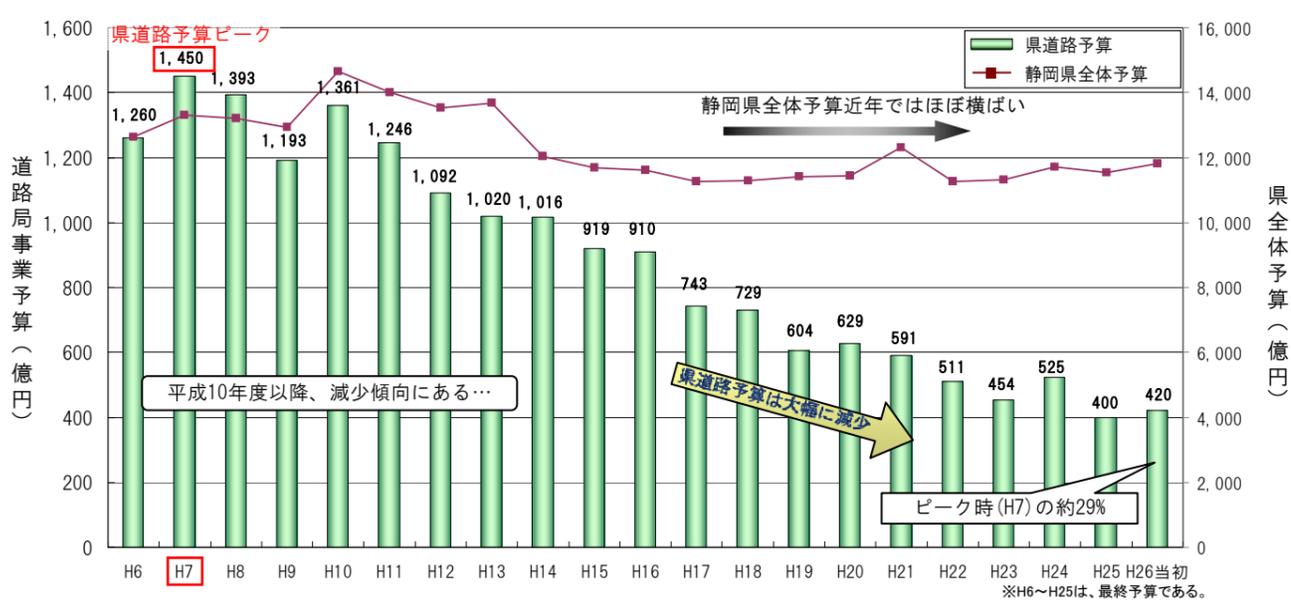
■ 建設後50年以上経過した橋梁の推移(累積)



平成26年度 静岡県の道路事業概要



■ 予算の推移



いっしょに、未来の地域づくり
New Public Engineering for SHIZUOKA

平成26年7月
静岡県交通基盤部道路局



編集・発行
静岡県交通基盤部道路局道路企画課
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
電話:054-221-3014 FAX:054-221-3337